

Novembro 2012

La Harmonio

N-ro 234

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia
Eldonejo : Rondo Harmonia

<< 目次 >>

- ☆ 第 97 回世界エスペラント大会 (ハノイ)
 - 大会概要 (編集部) 2 ページ
 - Miaj Raportetoj pri la 97-a Universala Kongreso 3~5 ページ
山本 美郷 (神奈川)
 - 家族とともにハノイへ 山口 真一 (愛知) 6~7 ページ
 - ハノイ大会で出会った人、考えたこと
広高 正昭 (福岡) 8~10 ページ
- ☆ Verda Salono (ヴェルダ サローノ) 木谷 奉子 (鳴門) 11~12 ページ
- ☆ エスペラント界の情報や行事 13~15 ページ



第 99 回日本エスペラント大会 (10 月 6 日~8 日、札幌市) が開催され、360 人が参加。内訳は、実参加者 202, 欠席者 27, 不在参加者 131。実参加者のうち、外国からの参加者は 26 人。RH 会員は 8 人が参加しました。第 100 回大会は東京で 2013 年 10 月 12 日~15 日に開催予定。(写真は開会式と図書販売会場)

La 97-a Universala Kongreso de Esperanto (UK)

第 97 回世界エスペラント大会

期日：7月28日(土)～8月4日(土)

会場：ハノイ(ベトナム)

参加者：866人(62カ国)

日本からは168人参加。国別参加者では1番目。2番目のベトナムは148人。ヨーロッパでの開催は数千名ですから、少な目の参加者です。

ウェブページ

http://www.uea.org/kongresoj/uk_2012.html



シンボルマーク
(Emblemo)

世界エスペラント大会は、1905年に第1回大会がフランスで開催され、二度の世界大戦の時期を除き、毎年開催されています。エスペラントの大会は会費さえ払えば誰でも参加できます。大会の運営は参加費などによる独立採算制です。参加者は自費で参加し、大会を盛り上げます。

今年の第97回大会は、ベトナムのハノイで初めて開催。

世界大会の開会式には、在ベトナム日本大使館の大使の代理の方も参加されました。

大会は、講演、芸能、分科会、セミナーなど、多種多様のプログラムが8日間行われました。

来年(2013年)の世界大会はレイキャビック(アイスランド)、2014年はブエノスアイレス(アルゼンチン)で開催されます。

RH会員3人の方々から報告や感想をいただきました。3頁から10頁をご覧ください。



Miaj Raportetoj pri la 97-a Universala Kongreso

Yamamoto Misato

Mi partoprenis en la 97-a Universala Kongreso de Esperanto en Hanojo de la 28-a de julio ĝis la 4-a de aŭgusto. Mi raportos al vi pri kelkaj impresaj aferoj, kiujn mi renkontis tie.

Al la UK en Hanojo aliĝis 866 personoj el 62 landoj, la plej multaj el kiuj estis el Japanio, nome 168 kaj due el Vjetnamio 148.

La ĉefaj stratoj en Hanojo estis ornamitaj per multaj verdaj kongreso-flagoj kun literoj “Esperanto, Ponto de Paco, Amikeco kaj Disvolviĝo Hanojo, 28/7-4/8/2012” kaj troviĝis ankaŭ informaj banderoloj.

Ĉu vi povas supozi, kiom da flagoj kaj banderoloj oni preparis por la kongreso? Laŭ la 6-a kuriero “Loa!.. Loa!.. Loa!..” de UK, oni preparis mil banderolojn, sed kiom da flagoj, neniu LKK-ano scias!



Strato apud Hotelo Melia Hanoi

<概要>

ベトナムのハノイで開催された第97回世界大会に参加したが、“メリア・ハノイ”ホテル会場付近は、エスペラント大会の横断幕で緑一色だった。

参加した中級講座では、詩の話題があり、改めて詩を作ったり吟じたりする人が多いのだと思った。

ベトナムの若いエスペランティストと一緒に街中で食べた麺「フォー」は、やさしい味で美味しくて印象に残った。

私にとって世界大会は、古い友人と出会う場であるとともに、新しい知り合いができる大切な場を提供してくれる大会でもある。来年はレイキャビックで開催される。

* Loa!..Loa..!Loa!..estas la nomo de la Kongresa Kuriero kaj Loa estas la voko per konika ilo uzata en la pasinta tempo por orienti kaj laŭtigi la parolon, por ke ĝi estu pli facile kaj klare aŭskultebla.

Iom bedaŭrinde en la hotelo Melia Hanoi ne troviĝis Salono “Zamenhof”, kiu estis uzata kiel la ĉefa kongresejo.

Pro tio ni devis kelkfoje transiri per aŭtobuso de Melia Hanoi al la Scienca kaj Teknika Universitato de Hanojo, kie estis Salono Zamenhof.

Same kiel en la lasta UK en Kopenhago, mi partoprenis en la Internacia Koruso. Sume pli ol 30 personoj el dek landoj kolektiĝis por kanti en la Koruso. Kiel kutime, ni aldone kantis vjetnaman kanton en la koruso. Dum unu semajno mi ĝuis kantadon kun alilandanoj.

Nu, mi prezentos al vi unikan lecionon “Paroligaj Lecionoj” per “edukado.net” por mezniveluloj. La gvidanto Sylvain Lelarge estas tre plezuriga kvazaŭ aktoro.



Internacia Koruso

En unu ludo, kies titolo estas “Ĉu vi la veran vivon plene spertis? “ mi devis serĉi aliĝinton, kiu neos al unu demando. La demando estis “Ĉu vi iam publike deklamis poemojn? Komence mi pensis, ke mi povos facile serĉi certan respondanton. Sed ses aliĝintoj respondis “jes”. Mi estis surprizita de tiu rezulto. Kaj mi malvenkis en tiu ludo. La deklamo de poemo estas speciala afero en mia vivo. Eĉ nun mi dubas, ĉu multaj homoj verkas poemojn

kaj deklamas ilin? Ĉu vi iam publike deklamis poemojn?

En manĝejo en la urbo, mia amikino kaj mi manĝis vjetnamajn nudelojn “Pho” kun vjetnamaj junulinoj.

Ĝi tre plaĉis al mi, ĉar tiuj nudeloj estis tre bonaj por mia laca stomako. Plie mi aĉetis tujpretan “Pho” en proksima vendejo kaj manĝis ĝin en mia ĉambro. “Pho” estis unu el miaj bongustaj memoraĵoj.

Reveninte de la Kongreso, ni havis la regulan kunsidon en Esperanto-Klubo de Maçida. Iu demandis min, “Kio estas UK por vi?” Mi respondis, ke Universala Kongreso donas bonan ŝancon al mi por renkonti novajn samideanojn kaj malnovajn konatojn en la mondo. En tiu ĉi UK mi feliĉe renkontis du junajn vjetnamojn kaj kelkajn malnovajn konatojn. Estis por mi surprize, ke unu el miaj malnovaj konatoj aperis en la filmo de Tibor Sekelj. Ĝi estis la dokumentfilmo memore de la 100-a datreveno de la naskiĝo de Tibor Sekelj. En la filmo ŝi rakontis pri Tibor kiel disĉiplo kaj persona amiko. Plie mi renkontis malnovan korespondanton dank’al UK. Do, ni vizitu Rejkjavikon por la venonta UK!

(Fino)



Kun ĉarmaj vjetnamanoj

家族とともにハノイへ

山口 真一（愛知）

夏にベトナムなんて、暑さに耐えられるだろうか、そのことがまず心配でした。気温は私の住む名古屋ほどではありませんが、湿度はほんとうに高く、ネットリとした蒸し暑さ、それにスコール、やはり南国特有のお天気でした。しかしこの時期の故に、ハノイの町のいたるところで蓮の花が売られ、近郊では満開に群生している様子を見ることができました。ベトナムの事実上の国花です。また仏教のシンボル花でもあります。

今回の世界大会参加は、実のところ大会そのものよりも家族旅行が主目的であったと告白しておきます。長男が高校二年生、家族旅行もこれが最後となるでしょう。家族四人（私、妻、長男、小学六年の長女）をいちおうは大会参加者として登録しておいたところ、「小学生のお子さんを子ども大会（**Infana Kongreseto**）に参加させませんか」とお誘いがありましたが、お断りしてしまいました。妻とはもともとエスペラントが縁で知りあいましたから、今でも少しはエスペラントができますが、子ども二人はまったくダメです。

世界大会の番組に参加するよりも観光に熱心なエスペランチストに対し、昔の私は少々批判的でした。今は、楽しみ方は人それぞれでいいじゃないか、と思うようになりました。エスペラントがまったくできない参加者もいるのが現実で、むしろそういう人たちや初心者によって大会が支えられているということもあるのです。私の場合、開会式だけは家族全員で出席しました。

開会式といえば、私をはじめて参加した 1987 年のワルシャワの世界大会の開会式はとても華やかで感動的でした。あのときは、大ホールに参加者をすべて収容できないため、二部に分かれて開会式をしたように覚えています。あれとは比べるべくもないでしょうが、ちょっと華がない感じでした。大学の講堂のようなところを使用していたせいもあるでしょう。

私が参加した大会の番組は、開会式以外では、**Movada Foiro**（運動見本市）と **Budhana Fakkunsido**（仏教分科会）でした。ともに、**Budhana Ligo Esperantista**（国際仏教エスペランチスト連盟）の責任者として関わったものです。**Movada Foiro** というのは、世界のい

ろいろなエスペラント組織が宣伝のために、パンフレットや機関誌や写真を展示する、というものです。BLE は毎年これに出展し、仏教分科会を主宰してきましたが、今年は BLE 委員長が来られないため、事務局長の私が代わって差配をしました。どちらもかなり



BLE (国際仏教エスペランチスト連盟)の会合

盛況で、準備のしがいがありました。

運動見本市では、偶然に、というか活動家のエスペランチストはたいていここに来ますからまったくの偶然とはいえませんが、二十年ぶりに旧知のエスペランチストと再会しました。彼は、私と妻とがともにお世話になった中国武漢の人ですが、すっかり風貌が変わっていたため、それとはすぐに分かりませんでした。世界大会というのは、旧知の人との出会いの場でもあるのですね。多くの人が毎年のように世界大会にでかけるのも、こういったことがあるからなのでしょう。

観光では、ハノイの旧市街や遺跡、それに世界遺産のハロン湾、それにタムコックを訪れました。タムコックは「陸のハロン湾」といわれる奇岩景勝地で、ボートで川を往復しながら景色を楽しむのですが、ハロン湾よりもむしろこちらのほうが風情がありました、ただ物売りのしつこいには閉口しましたが。

ベトナムはアジアの中では、かつての旺盛な出版活動からもうかがえるように、エスペラント運動の盛んな国ということになっています。だから、かなり盛大な大会を予想していましたが、意外にこじんまりとして地味な感じでした。観光目的の私がいうのはおこがましいのですが、もっと町中の宣伝（旗や看板など）を派手にしてもよかったのではないかと思います。ハノイのタンロン遺跡をガイドしてくれた外国語大学の学生ボランティアに、エスペラントを知っているかと尋ねたら、知らないとのことでした。この国でさえも若い世代はエスペラントから縁遠くなっているのが現実なのでしょう。

(終)

ハノイ大会で出会った人、考えたこと

広高 正昭（福岡）

横浜大会（2007年）から五年ぶりの世界大会でした。今回は、これまでメーリングリストやツイッターなどインターネットを通じてのみの交流だったエスペランティストの何人かと、直接会って話をする事ができたのが最大の収穫と言えます。

マレーシアのエン（@SinjoroEng）さんは昨年ツイッターで知り合った人で、エスペラントの普及活動にとっても熱心な人です。インターネット環境が不十分なためエスペラントの書籍が欲しいけれど辞書や学習書が手に入らないと言っていたので、送ってあげたらとても喜んでくれました。マレーシアではこれまで何人かのエスペランティストが個人的な活動を行っていたこともあったようですが、現在は彼一人が孤軍奮闘中のようにです。住んでいる市の若者数人を集めてエスペラントを教えているそうです。大会最終日の閉会式後、



大会会場近くのパン屋の店先にて（左が筆者、右がエンさん）

会場近くのホアンキエム湖を散策しながらいろいろおしゃべりしました。

イタリアのレナート・コルセッティさんとアンナ・ローウェンスタインさん夫妻とは数年前に la bona lingvo (Google グループ) のメーリングリストで知り合いました。このリストは「無用な新語根 (neologismo=novradiko) の導入で学びにくくされたエスペラントを、既存語根の造語力を活用することでもっと簡単に学びやすいものにしよう」という趣旨で活動しています。その成果は "Simplaj samsignifaj vortoj" というウェブサイトで公開されています。

http://www.bonalingvo.org/index.php/Simplaj_samsignifaj_vortoj

私個人の意見としてはそれらのすべてに賛同するものではありませんが、基本的な方向性は支持に値すると考えています。mallonga を kurta と言ったり、kormalsano を kardiopatio と言ったり、ekloĝi を setli と言ったりすることは、ヨーロッパ語系の人々にとっては「自然な」ことかも知れませんが、日本人を含むそれ以外の人々にとっては学習負担を増加させることになっています。これは中立公平な国際語を目指すあり方とは相反することです。

ハノイ大会で初めてお二人に会っていろいろと話をすることができました。メールのやりとりでは書くのがつい面倒になって端折ってしまうようなことも、対面してのおしゃべりでは気軽に話せることが直接会話の醍醐味だと感じました。このあたりがエスペラントの大会に参加する意義だと実感しています。

Esperantologia Konferenco 分科会では、かどやひでのりさんが "Dekonstruado de Esperanta frazeologio" と題して発表をおこないました。以前からツイッターでフォローしていたのですが、意外とお若いのにびっくりしました。終了後に挨拶を交わしたのですが、先方はこちらが意外と老けているのに驚いたようでした（苦笑）。

かどやさんは「人権」という観点からエスペラントとエスペラント運動について論究を続けている方で、その論点のいくつかは傾聴に値すると思います。第一点は言語規範の役割が非計画言語（自然語）と計画言語（エスペラント）で逆転していることの認識。自然語において実際の用例や慣用を尊重する記述的立場は民主主義的かつ言語権尊重の立場であり、審議会や辞書などの権威による規制を是認する規範的立場は非民主主義的かつ言語権を軽視する立場とみ

なされます。しかしそれとは逆に計画言語では用例や慣用を重視することは言語規範を複雑化させ、学習者（特に非ヨーロッパ語系学習者[広高補注]）の負担を増大させます。エスペラントの特長は「第一言語話者（母語話者）が存在しないことによる計画性・論理性と相対的な学習容易性、低コスト性」であり、「言語の恣意的な変化・慣習の蓄積を許容しない」規範的立場こそが計画言語の特長であり、言語民主主義的な立場であるというのが彼の論点です。

第二点は言語権的価値からみてエスペラント学習に時間と労力をかければかけるほどよいとする「発展段階論的学習観」は誤りであるという主張です。短い行数で正確に説明することは難しいので、詳しくは彼の論文『「言語権的価値」からみたエスペラントとエスペラント運動—言語学習観と言語規範意識を中心に—』（日本エスペラント学会『エスペラント研究第3号』2008年）を読んでみてください。

第二点に関して私の考えを述べると、一定程度の学習が終わればいつまでもエスペラント学習を目的にするのではなく、エスペラントの使用（実用活動）を目的にすべきであり、そのための環境を整備し誘導するのがエスペラント運動体の役割であるということです。

以上まとめがありませんが、ハノイ大会に参加してどんなことを得たかを簡単に書いてみました。

（終）

広高正昭さんが文学コンクール翻訳部門で1位受賞

第99回日本エスペラント大会（10月6～8日、札幌）の文芸コンクール（Literatura Konkurso）の翻訳部門で、広高正昭さんが一位（1a 1-a premio）を受賞されました。受賞作品は、菊池寛の短編『形』（Formo）。なお、同部門への応募者は5人。



表彰式は大会の閉会式で行われ、写真のとおり、広高さんはJEI理事長 鈴木恵一朗氏から賞状を受け取りました。（編集部）

Verda Salono (ヴェルダ サローノ)

鳴門エスペラントクラブ
木谷 奉子 (鳴門)

今年5月、鳴門にヴェルダ サローノが誕生しました。だれでもが気軽に来て、エスペラントを学習したり、エスペラントとインターネットを使って国内といわず国際的に交流ができるエスペランティストのための交流の場が欲しいと思いましたが、素敵な古民家を借りられることになり、エスペラント交流の場“ヴェルダ サローノ”誕生の運びとなりました。場所は徳島県鳴門市高島中島。鳴門教育大学のすぐ近くです。



昭和初期、徳島県鳴門市高島一帯は塩田地帯でした。この家は浜屋と言って広い塩田を持ち、多くの使用人を雇って、塩を作っていた人の家だったそうです。ドイツ人が設計をしたそうで、外見からして周囲の住宅とは少し違った雰囲気の家です。中に入れば、広い応接間、10人がけの食堂机、10畳の和室が2つ、どの部屋も広くて、大勢で使うには便利なようになっています。イスに座れば、裏山から四季の小鳥のさえずり、東からは一年を通じてすがすがしい風が入り、ここを訪れた人はみな異口同音に言います。「じつに落ち着く場所ですね。」この静かな雰囲気はドイツ人が設計した建物からくるのか、家の古さからくるのかわかりませんが、是非一度おいでください。

Verda Salono は、エスペランティストのためのサロンとして活用したいと考えつぎのような行事を行っています。

(講習会)

まず講習会の実施を月曜日と土曜日。講習会は軌道に乗れば毎日でも行いたいのですが、それは夢のまた夢。今のところ月曜日入門クラス、土曜日に初級クラスの講習会をしています。講習会とい

うより、ともに高め合う勉強会というところです。

(合宿)

ここ鳴門では、去年の3月からエスペラントクラブのメンバーを集めていますが、まだまだ少なく、エスペランティスト同士の内外の交流が十分出来ていません。そこで、市外からエスペランティストに来てもらいモチベーションをあげてもらうことを狙い、頻繁に合宿をしたいと考えています。5月の終わりに、岡山の荒井さんが、ドイツ在住のまり子さんを案内して来て下さるのを機会にして、大阪の桐山さんと徳島・鳴門メンバー4人でお試し合宿を行うことができました。夜はスカイプで外国のエスペランティストたちと話ができ、エスペラントの会話実践ができました。

(市外のエスペラント会との交流)

手軽に来られることの出来る東かがわエスペラント会のメンバーと夏の夕食会を行いました。みんなで持ち寄り野菜、ジュース、アルコール等で気軽に料理を作って、たらふく食べて、Atilio氏とエスペラントで話し、エスペラント的な雰囲気になりました。12月は徳島、東かがわ、鳴門で合同のエスペラント祭を行う予定です。

(スカイプでこどもエスペラント交流)

従来公民館で行っていたロシアのこどもたちとのスカイプ交流を Verda Salono ではじめて行いました。広い部屋で8人のこどもたちが集まり、楽しく交流しました。こどもたちのエスペラントは勉強の機会がないので上手にはなりません、あいさつやゲームをするときには、エスペラントの雰囲気を十分味わい、国の垣根を越えて交流を楽しめました。



小鳴門海峡のすぐ近くにあり、昔ながらの渡船を使うと鳴門の中心街に徒歩で行くことができ、鳴門の渦潮にも近いなどの地の利を生かして、エスペラントの交流が出来ればいいと考えています。エスペラント交流がこのヴェルダ サローノで行われることを夢見ているところです。

Verda Salono 連絡先 : verdasalono@gmail.com

(終)

エスペラント界の行事

※行事の詳細を知りたい方は
編集部（16頁）までお問い合わせ
させていただきます。

エスペラントの全国各地の講習会や展示会等の最新情報はインターネットで公開されています。お近くのイベントをご確認ください。

パソコンだけでなく、スマートフォンでも見ることができます。

ネット講座や入門書なども紹介しています。

<http://jei.or.jp/informo/>

The screenshot shows the Esperanto website's event page. At the top, it says 'エスペラント Esperanto' with a green star and flag icon. Below that, it lists '講座・講習会・展示会・講演会等の情報' (Information on lectures, seminars, exhibitions, and presentations). There are navigation links for 'エスペラントとは?' (What is Esperanto?), 'ご注意と連絡先' (Notes and contact info), and '更新日: 2012-11-03'. A section for '都道府県ページへ' (To prefecture pages) lists various regions like北海道, 岩手, 宮城, etc. Below that, there are icons for '通信講座', 'ネット講座', '入門書', '短信', and '行事'. A table titled '<11月の行事>' (November events) lists dates and events, such as '11/1(木)-3(土) 大阪府高槻市 第47回 E 展' and '11/17(土)-18(日) 京都府宇治市 公民館まつりでのE展示'.

★ ザメンホフ祭 Zamenhofaj Festoj

期日：12月中の土曜日または日曜日

会場：全国 約 30 カ所

概要：ザメンホフの誕生日(1859年12月15日)を記念。大都市では複数のエスペラント会が合同して開催したり、地方のエスペラント会は総会や忘年会を兼ねて開催されています。

★ 第31回東アジア青年エスペラント合宿

La 31-a Komuna Seminario inter orient-aziaj junularoj

期日：12月28日(金)～30日(日)

会場：高尾の森わくわくビレッジ（東京都八王子市）

テーマ：「エスペラントをとことん使って楽しもう！」

主催：JEJ (Japana Esperanto-Junularo)

日本青年エスペラント連絡会 <http://jej.jp/>)

共催：中国・韓国・ベトナムの各青年エスペラント組織

KSは1982年に第1回が開催。その頃のRHの若手活動者も開催に協力しました。そのKSが受け継がれて、開催回数が30回を超えたのは素晴らしいことです。

★ 第7回アジアエスペラント大会

La 7-a Azia Kongreso de Esperanto

期日：2013年4月18日(土)～22日(日)

会場：エレサレム (イスラエル)

ウェブページ <http://www.esperanto.org.il/ak2013.html>

第1回アジア大会は1996年に中国で開催。おおよそ3年おきに開催されています。ただ、外務省の渡航情報によると、イスラエルは「十分注意」となっているのが気になります。

★ 第61回関西エスペラント大会

La 61a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo

期日：2013年5月25日(土)～26日(日)

会場：和歌山市民会館

記念出版図書：3言語対訳『稲むらの火』

2008年の第56回大会以降、毎回、RHのエスペラント・ミニ大学を開催してきました。ミニ大学での発表を希望される方は早めにお知らせください。

★ 第98回世界エスペラント大会

La 98-a Universala Kongreso de Esperanto

期日：2013年7月20日(土)～27日(日)

会場：レイキャビック (アイスランド)

ウェブページ <http://esperanto.is/>

フェイスブック

<http://www.facebook.com/UK2013>



世界大会のシンボル
マーク

★ 第69回国際青年エスペラント大会

La 69a Internacia Junulara Kongreso (IJK)

期日：2013年8月19日(月)～26日(月)

会場：キブツ Afikim (イスラエルの北部)

ウェブページ <http://www.esperanto.org.il/ijk2013.html>

★ 第 100 回日本エスペラント大会

La 100-a Japana Esperanto-Kongreso

期日：2013 年 10 月 12 日(土)～15 日(火) 4 日間

会場：タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

主催：一般財団法人日本エスペラント協会

参加費		2013年3月末日まで	7月末まで	8月1日以降
	一般	5,000円	6,000円	7,000円
	不在参加	3,000円		

(参加費は事前支払い。宿泊・食事などの費用は含みません。)

公開記念講演 13 日(日)午後)

- ・ウルリッヒ・リンス氏 (元ドイツ学術交流会東京事務所長)
「エスペラント運動史に日本が果たした役割」
- ・後藤斉氏 (東北大学大学院教授) 「日本近代史のなかのエスペラント」
- ・木村護郎クリストフ氏 (上智大学教授)
「日本のエスペラント運動は世界と日本社会に何ができるか」

問合せ・参加申込み先

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3 日本エスペラント協会

TEL 03-3203-4581 FAX 050-3737-6438

電子メール jek100@jei.or.jp

郵便振替口座 00130-4-744162 名義「日本エスペラント大会A」



会場の全景



大ホール

世界のエスペラント運動の中で、100 回を迎える大会は初めての
ことです。活動者の高齢化などの課題はありますが、日本のエス
ペラント運動の歴史の厚みを感じます。

Vikipedioへの招待

「Vikipedioへの招待」という小冊子 (A5判・12頁) を作成し、第60回関西大会の2日目 (6月24日) のミニ大学で配布しました。これを読めば、Vikipedio (エスペラント版ウィキペディア) を活用することができます。

この小冊子のPDFファイルは次のアドレスにあり、ダウンロードできます。 (森川)

http://esperanto.jp/dok/univ/Viki_120625.pdf
(ファイル容量470kB)



★ 235号 (2月発行)

2013年2月発行予定。原稿締切は2013年1月31日です。皆さんの原稿をお待ちしています。

★ La Harmonio の電子ファイル

本誌 La Harmonio の PDF ファイルは、次のウェブページから自由にダウンロードできます。RHの維持のため、RH会費を納入いただければ幸いです。

http://esperanto.jp/arkivo_harmonio.html

La Harmonio 234号 2012年11月10日発行
編集発行 Rondo Harmonia (国際語教育協議会)

* 組織委員会書記局・La Harmonio 編集部・財務担当

〒618-0071 京都府大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳

FAX 075-955-1627 電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

* ホームページ <http://esperanto.jp> 電子メール officejo@esperanto.jp

* RH会費 (会計年度 1月1日から12月31日まで)

◇ RH会員お一人の場合

RH維持会費 (La Harmonio 電子版) 1,200円

RH維持会費 (La Harmonio 印刷物郵送) 2,400円

◇ ご夫婦ともRH会員の場合

RH維持会費 (LH 電子版) + 家族会費 1,800円 (1200+600)

RH維持会費 (LH 郵送) + 家族会費 3,000円 (2400+600)

* 会費払込先 郵便振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」
または 楽天銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」